

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年11月29日(2012.11.29)

【公表番号】特表2012-508747(P2012-508747A)

【公表日】平成24年4月12日(2012.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-015

【出願番号】特願2011-536436(P2011-536436)

【国際特許分類】

C 07 D 401/04 (2006.01)

【F I】

C 07 D 401/04 C S P

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月15日(2012.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも2反射位置

【表1】

<u>2θ</u>
6.78
11.09
19.94
20.99
26.57
26.98
31.52

を有するX線回析パターンにより特徴付けられる3-ブロモ-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-N-[4-シアノ-2-メチル-6-[ (メチルアミノ)カルボニル]フェニル]-1H-ピラゾール-5-カルボキサミドの多形体Aを製造する方法であって、水、n-ヘプタン、1-クロロブタン、トルエン、1-ブタノールおよび1-ペンタノールからなる群から選択される溶媒と、少なくとも2反射位置

## 【表2】

<u>2θ</u>
7.43
9.89
18.68
19.36
22.16
23.09
25.70

を有するX線回析パターンにより特徴付けられる3-ブロモ-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-N-[4-シアノ-2-メチル-6-[ (メチルアミノ)カルボニル]フェニル]-1H-ピラゾール-5-カルボキサミドの多形体Bとを含む混合物を約40~溶媒の沸点の温度で加熱する工程を含む、上記方法。

## 【請求項2】

溶媒がn-ヘプタンである、請求項1に記載の方法。

## 【請求項3】

溶媒がトルエンである、請求項1に記載の方法。

## 【請求項4】

溶媒が水である、請求項1に記載の方法。

## 【請求項5】

多形体Bの質量に対して約0.1~10質量%の多形体Aを加熱工程の前に混合物に添加する、請求項4に記載の方法。